

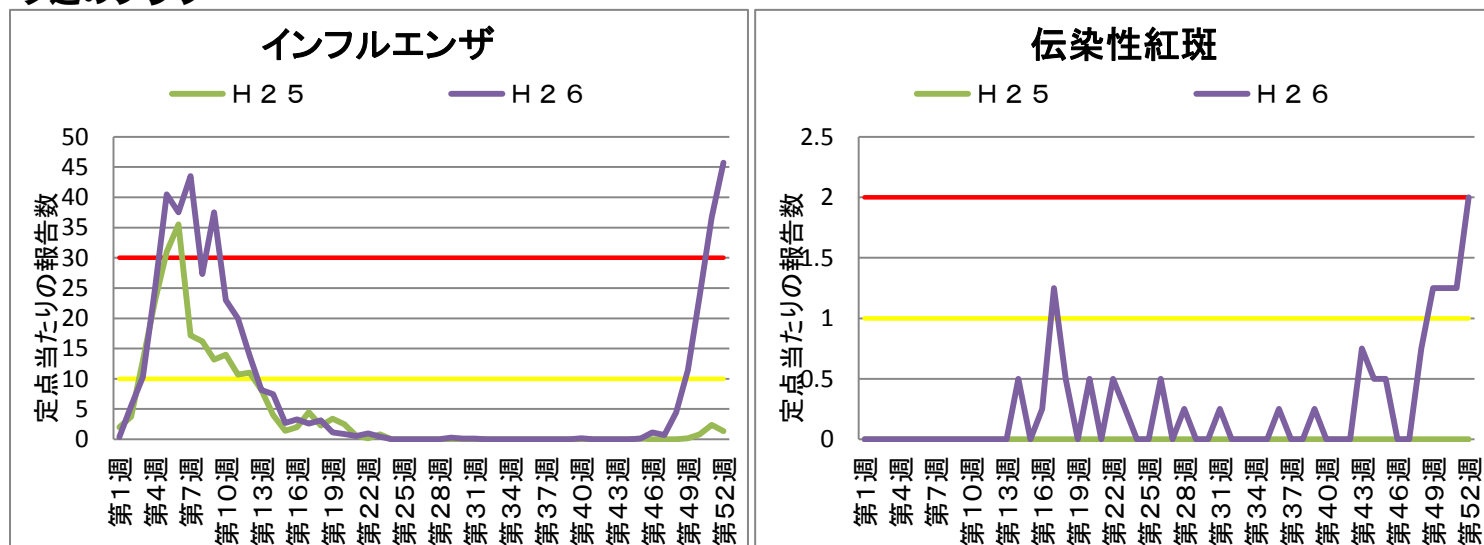
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 52 週 平成26年12月22日 ~ 平成26年12月28日

今週のコメント

12月最終週の報告です。①インフルエンザの報告は増加が続き、定点あたりの報告が45.71件となり、昨シーズンのピークと同程度に達しました。直近の5週間(2014年第48週～第52週)ではAH3亜型の検出割合が最も多く、次いでB型、AH1pdm09の順となっています。②感染性胃腸炎の報告はやや減少しましたが、引き続き注意が必要です(定点あたり8.25件)。③RSウイルス感染症は、全国的に高水準で流行が続いており注意が必要です。④伝染性紅斑の報告が増加し定点あたり2.0件と流行警報基準に達したので注意しましょう。
※感染症の予防として、うがいや手洗いの励行、外出時のマスクの着用、十分な栄養と休養、咳エチケットを心がけましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当りの報告数	疾病名	定点当りの報告数
インフルエンザ	45.71	手足口病	1.5
RSウイルス感染症	1.5	伝染性紅斑	2
咽頭結膜熱	1	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	8.25	ヘルパンギーナ	-
水痘	1.75	流行性耳下腺炎	0.25

定点当りの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

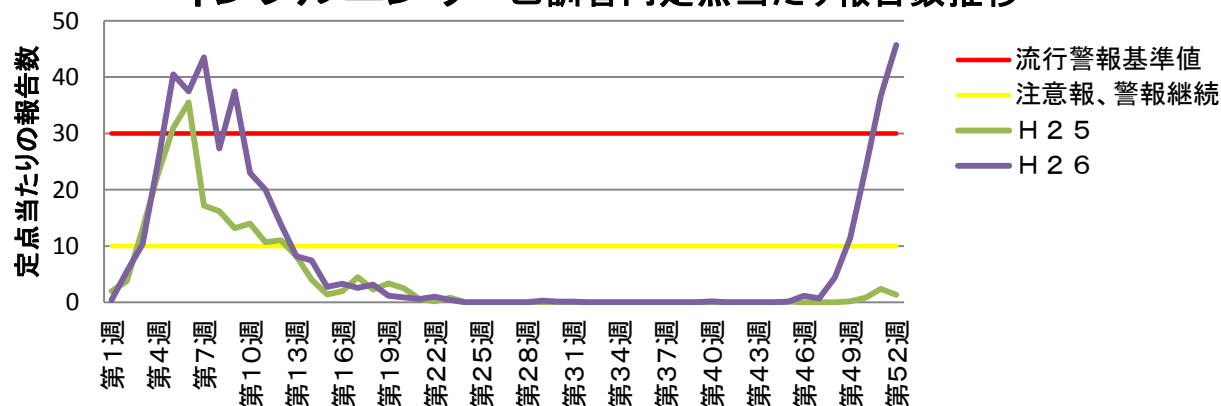
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

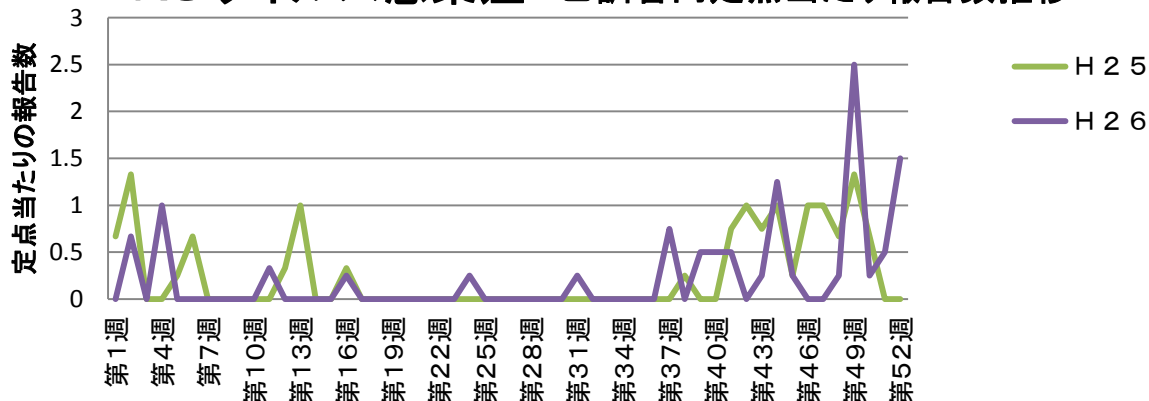
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

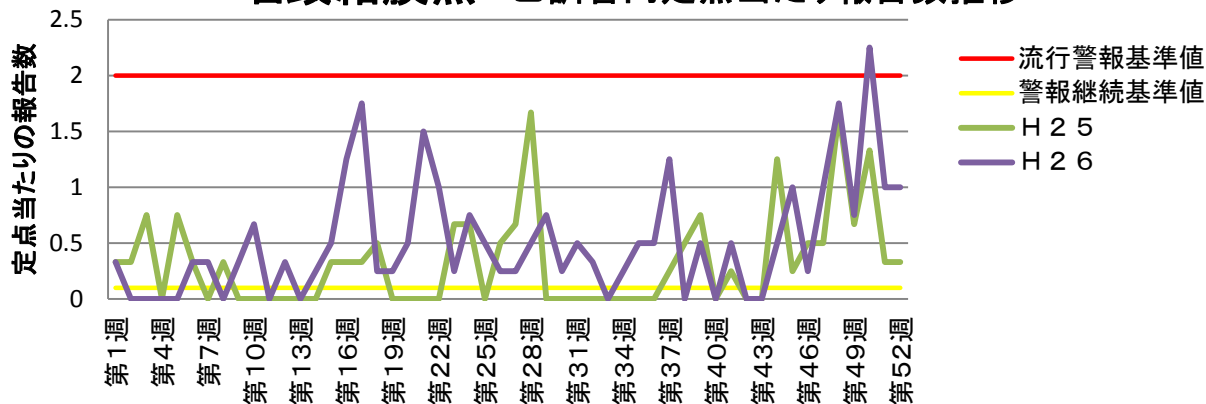
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



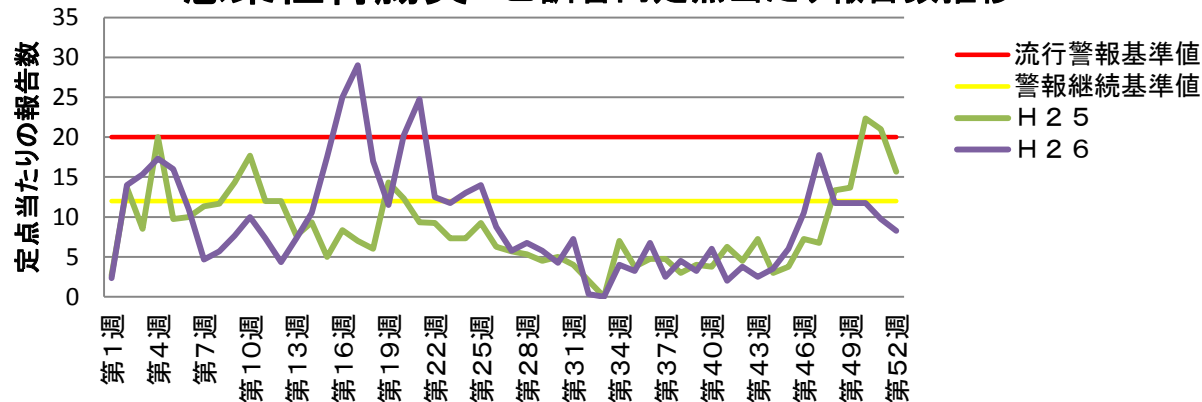
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



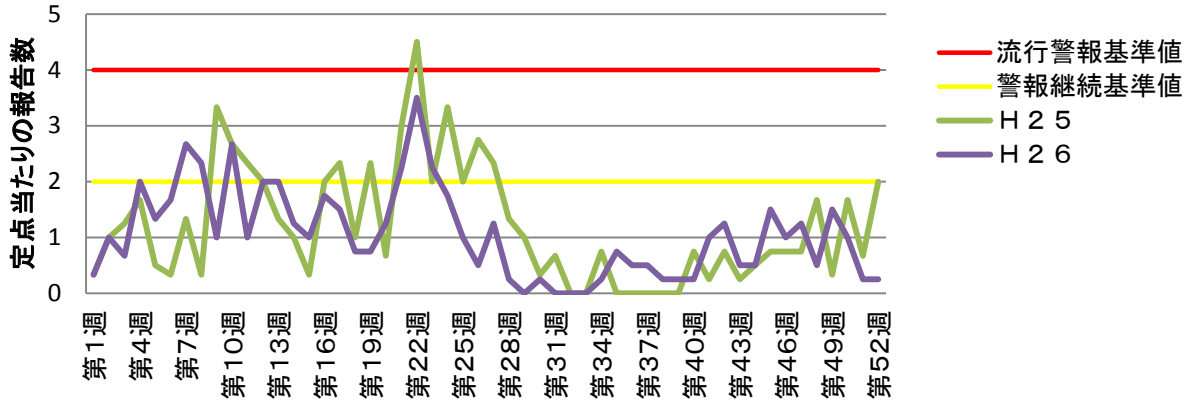
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



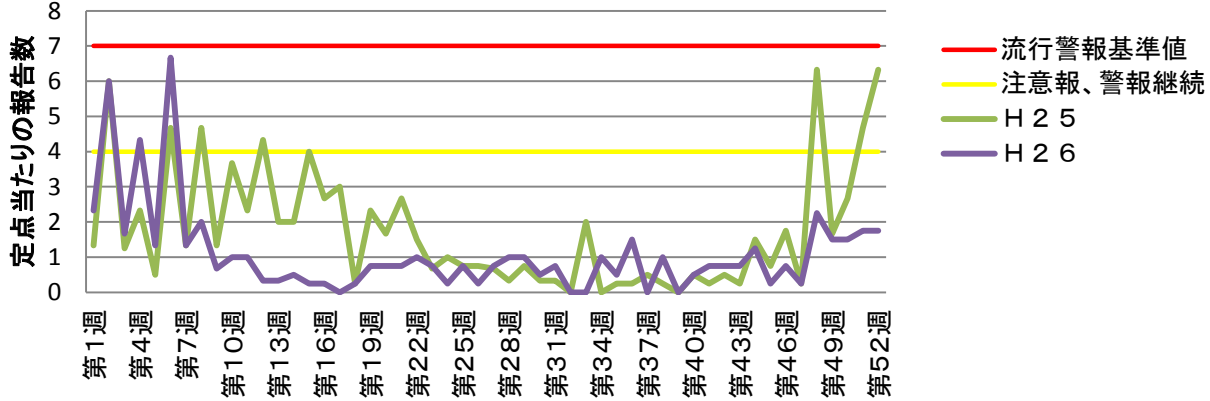
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



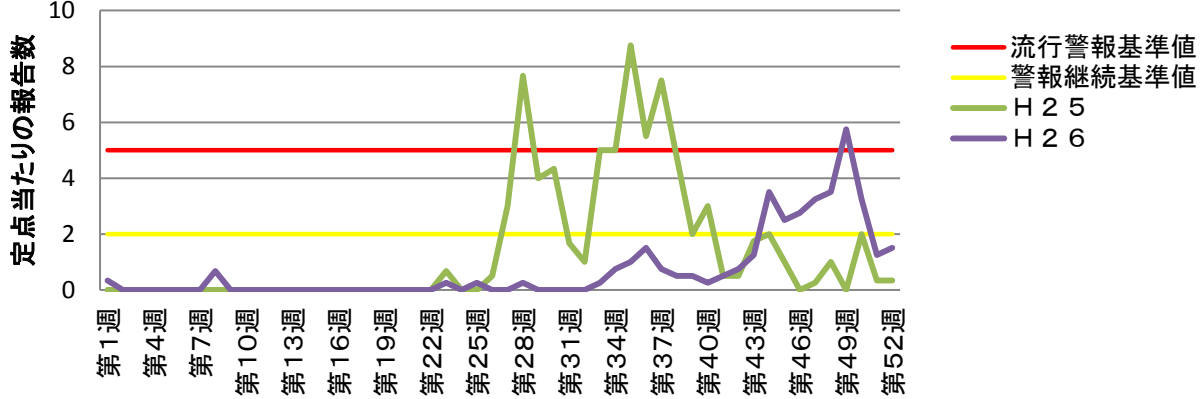
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



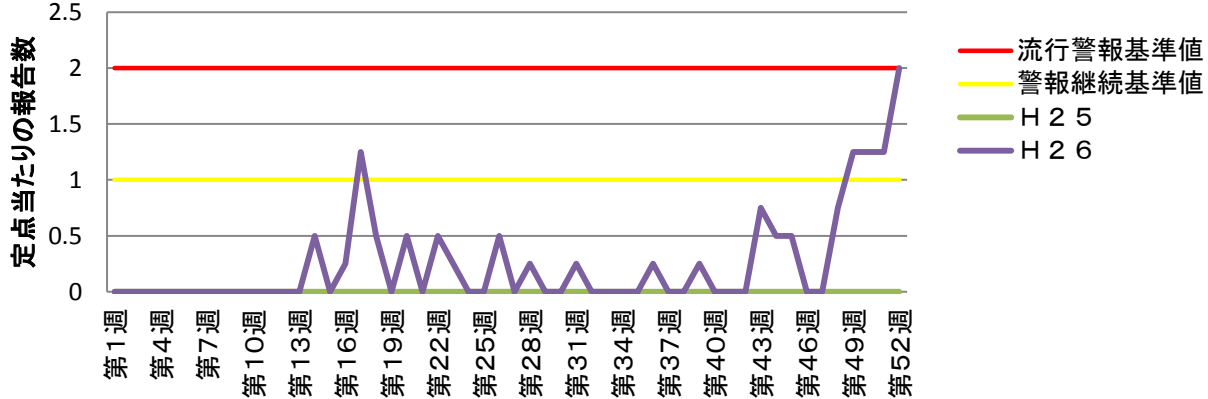
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



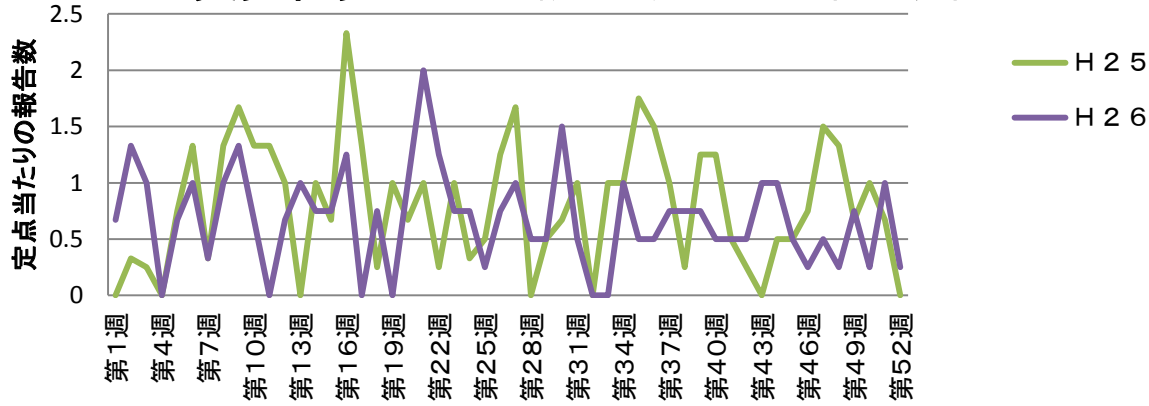
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



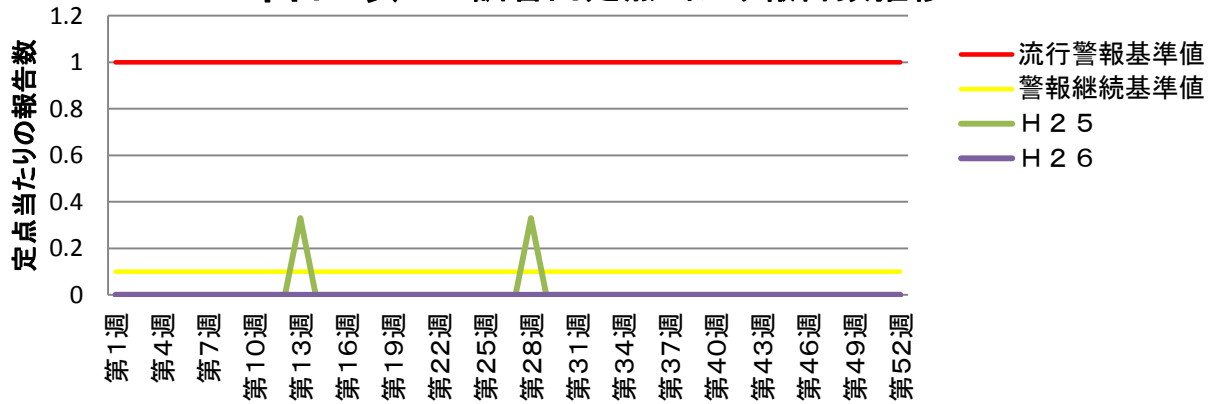
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



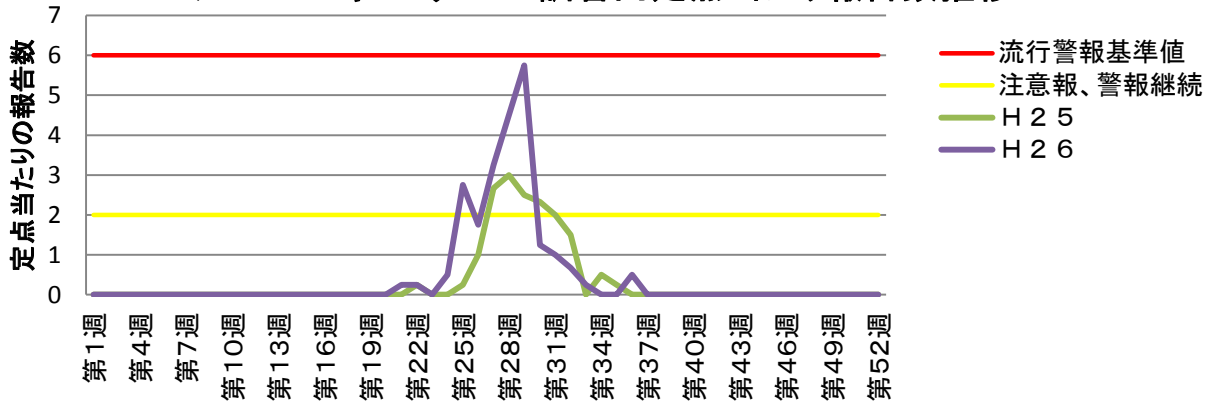
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

